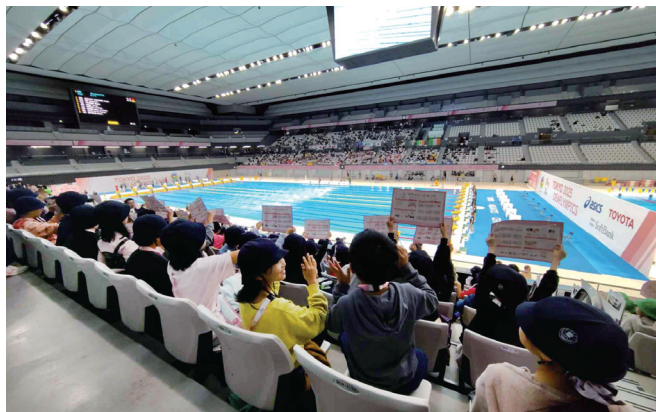


大熱狂!!

デフリンピック観戦



創意工夫して、エールを届けました

東京デフリンピック2025大会が昨年11月に開催されました。区には、テニス、水泳、ゴルフの3つの競技会場がありました。区では「KOTO☆デフリンピックマガジン」を発行して子どもたちにデフリンピックについて情報発信したり、15分でできるデジタル教材を作成して全校集会や授業で活用したりしました。

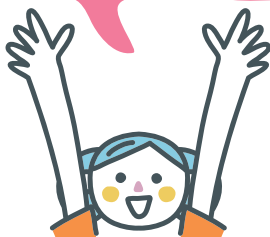
また、デフリンピックの精神や歩みについて学ぶことができる「デフリンピック学習読本」(デジタルブック)を使ってデフリンピックに関する興味・関心を深めていきました。多くの学校園が会場に観戦に行き、事前に作成した応援グッズを使ったり、ハンドエールを送ったりして熱のこもった応援を行いました。

観戦した学校(子どもや教員)の声

デフリンピックを観戦したことで、障害の有無に関係なくスポーツを楽しむことが実感できました。手話だけでなく、光や振動などを用いた一つひとつの工夫が選手を支え、大会を盛り上げていて、きめ細やかな運営に感銘を受けました。



学校のみならずハンドエールを送ると会場全体で一体感が出て、応援にも熱が入りました。大会の雰囲気味わうことができたことがとても良い経験になりました。



授業で事前に作成していた応援グッズを使って、エールを送りました。実際に選手同士が手話でコミュニケーションをとっている様子を目の当たりにすることができて、貴重な体験でした。

